

# 令和7年度 太田市視聴覚教育ライブラリー教材

## DVD (人権教育)

登録番号	題名	時間	内容	利用対象	購入	区分	備考欄
D340	母のさがしもの	32	今後高齢者の約5人に1人が認知症になるとも言われています。誰しもが認知症に関わる可能性のある現代社会において、認知症の人が尊厳を保持しながら希望を持って暮らしていくためには、周囲の人が認知症に対する正しい知識と理解を持つことが重要です。認知症は人によって症状も様々です。ある家族の視点を通じて、症例を織り交ぜながら描くことで認知症に関する理解を深め、認知症の人の不安や家族の悩みを知り、本人や家族の孤立を防ぐために介護者や地域の交流の重要性を示すと同時に、本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学びます。	小学生(高)以上	R7	J i	
D341	大切なひと	34	現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強い社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的としています。	小学生(高)～高校生	R7	J i	
D342	あなたのいる庭	35	社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らす、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしている子どもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち(ケアリーパー)がいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見いだせず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。次代の社会を担う子どもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。「子どもの人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的としています。	小学生(高)以上	R7	J i	
D343	いじめ ～それぞれの想い それぞれの言い分～	23	近年、正義感ゆえの言動がはじめに発展してしまう事例が増えているといわれています。「ウザいから」「みんなと違うから」といった短絡的な理由ではなく、相手の非を許すことができず、対話がないまま制裁的にいじめをしてしまうという構造です。このようないじめを防ぐためには、自分の目に見えていることが全てではなく、相手には相手の事情があることを理解する「想像力」が大切です。一見非があるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がいじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起します。また、「晒し」や「ステメいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。	小学生(高)～中学生	R7	J i	
D344	いじめ心の声に気づく力	19	小学校中・高学年向けの、いじめ防止教材ドラマです。一見、ふざけ合いや遊びに見える行為も相手が苦痛を感じていけば、それはいじめです。子供たちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。小学校では平成30年度から「特別の教科 道徳」の授業が求められています。いじめ防止のために、子供たちが考え、議論するための教材として活用いただければと思います。	小学生(中・高)	R7	J i	(追加購入)
D345	おはようの一言で	18	近年、友だちや周りの人々とのかわりに対して不慣れであったり、無関心、自己本位な子どもたちが目につきます。思いやりを持って人と接するには、人と人の心を結びつける基本的な生活習慣の挨拶やお礼の言葉が肝心です。言葉数の少ない転校生に班長の少年が根気強く挨拶を重ねることで、少しずつ転校生の心が開かれ、班活動がまとまっていきます。人を思いやる心、あいさつの持つ意味を考えます。	小学生(低・中)	R7	J i	(追加購入)
D346	声を聞かせて (アニメ)	40	携帯電話は、もはや単なる“電話機”ではありません。メールやインターネットなど、さまざまな機能を持つようになり、大人も含めて、「ケータイがないと不安」なケータイ依存までもつくり出しています。このケータイを子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか、私たちはこの現実はどう向き合っていけばいいのか、一緒に考えてみませんか。インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げています。	小学生以上	R7	J i	(追加購入)